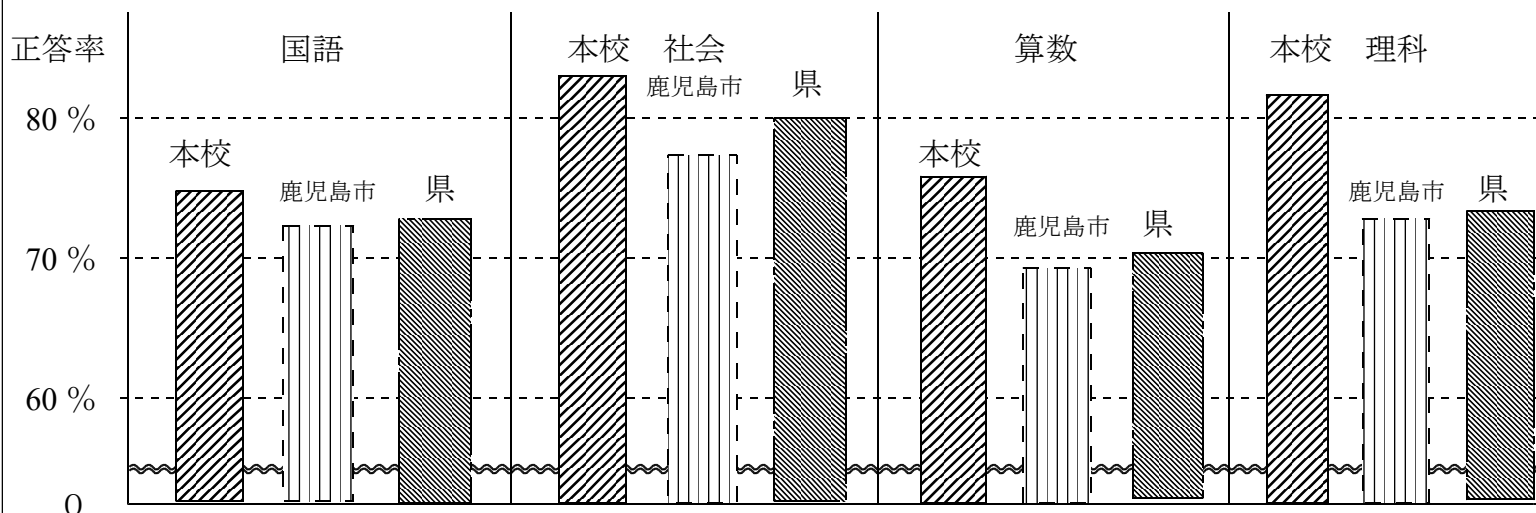


鹿児島学習定着度調査結果と今後の対策について

(1) 結果概況



(2) 課題と対策について (○課題 →対策)

全ての教科・領域において、鹿児島市・鹿児島県の平均を上回っています。ただ、基礎・基本の内容はとてもよくできているが、思考・表現については、課題があり、今後の指導が必要である。

《国語科について》

○主語・述語の関係や修飾語の意味を理解していない。

→ 主語、述語、修飾語の理解を深めるために、文作りの学習の中で、定期的に確認する。

○単純に問題で聞かれていることを読み落としていたり、複数の資料から必要な情報を読み取ることができていなかったりした。

→ 類似問題を解かせ、これらの解法を身に付けさせる。(鹿児島 web システム活用)

《社会科について》

○二つの資料を関連付けさせ、条件に合った説明をすることができていない。

→ 二つの資料を関連づけて考え、的確に説明する学習経験をさせていく。

例：グラフから分かることを書き、それから考えられることを書かせる。

○工業地帯や工業地域が海沿いに多い理由についての理解が不足していたり、分かりやすく説明するための言葉が不足していたりする。

→ 「なぜ」という問いを大切にされた追究活動を授業に取り入れ、自分の言葉でまとめる活動を多く取り入れる。

《算数科について》

○解き方を言葉や式を使って説明することができていない。

→ ノートに解き方を言葉や数字を使って自分の言葉で書く活動を取り入れる。

○表とグラフの関係を正しく理解できていない。

→ 表から分かることと、グラフから読み取れることの関係付けを図るようにする。

《理科について》

○アサガオのおしべの位置を正しく理解していない。

→ おしべの位置について実物を用いて押さえ、記録用紙に花のつくりをスケッチさせたり、おしべのはたらきを書き入れさせたりする必要がある。

○直列つなぎになると電流が大きくなることは理解しているが、回路を流れる電流の向きが理解できていない。

→ 乾電池の向きを反対にしたときの、電流の流れと検流計の針の向きを実験で押さえた後に、図で描かせたり、電流の流れを鉛筆や指でなぞらせたりする必要がある。

